

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：災害対策課  
 担当名：災害対策担当  
 内線：8181

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P11	災害対策本部における統括部の機能強化事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	防災体制整備費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 7年度	根拠 法令	災害対策基本法		針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築		SDGsゴール	11, 13
					分野施策	0101	危機管理・防災体制の再構築		SDGsターゲット	11-b, 13-1
1 事業概要 災害対策本部統括部の迅速かつ的確な対応に資する環境を整備し、情報収集及び発信能力の強化を図る。				5 事業説明 災害対策本部統括部の迅速かつ的確な対応に資する環境を整備し、情報収集及び発信能力の強化を図る。						
①オペレーションルームの機能強化 1,505千円				①オペレーションルームの機能強化 1,505千円						
②多様化する災害関連情報の収集及び発信能力の強化 19,220千円				②多様化する災害関連情報の収集及び発信能力の強化 19,220千円						
ア 災害オペレーション支援システムの再構築 18,370千円				ア 災害オペレーション支援システムの再構築 18,370千円						
イ 防災映像情報システムの機能強化 850千円				イ 防災映像情報システムの機能強化 850千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(1) 事業内容						
3 地方財政措置の状況 なし				(2) 事業計画 ・多様化する災害情報への対応や操作性向上のため、次期災害オペレーション支援システムの詳細設計・システム開発を実施する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円				(3) 事業効果 災害時における情報の収集、トリアージ・加工、共有体制の強化が図れるようになることから、迅速で的確な災害対応ができるようになる。さらに、県民に災害対応に必要な情報を迅速に発信できるようになる。 【活動指標(アウトプット)】 支援システムで大容量データを取り扱え、避難情報、避難所情報を県民に位置情報も含めて発信 【成果指標(アウトカム)】 ・災害現場の状況、災害対策本部の意思決定を関係者が再構築されたオペレーション支援システム、既整備のオペレーションルーム資機材を介してリアルタイムに把握し、各々が迅速で的確な災害対応の実施 ・県民に迅速に災害対応に必要な情報の伝達						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
決定額	20,725	県 債						20,725	△58,732	
前年額	79,457	67,000						12,457		

## 事業内訳書

事業名	災害対策本部における統括部の機能強化事業費		
単位事業名	オペレーションルームの機能強化に要する経費	予算額	1,505千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,505	△5,353	
合計	1,505	△5,353	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	1,505	△5,353	電子テーブル保守 49,500円×12月 物理サーバ保守 75,900円×12月
合計	1,505	△5,353	

単位事業名	多様化する災害関連情報の収集及び発信能力の強化	予算額	19,220千円
-------	-------------------------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	19,220	5,878	
合計	19,220	5,878	

単位事業名	多様化する災害関連情報の収集及び発信能力の強化	予算額	19,220千円
-------	-------------------------	-----	----------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	830	415	閉域網ルータ 通信費 69,163円×12月
委託料	18,390	5,463	次期災害オペレーション支援システム詳細設計・システム開発業務 18,370,000円 閉域網ルータ一保守 19,800円
合計	19,220	5,878	